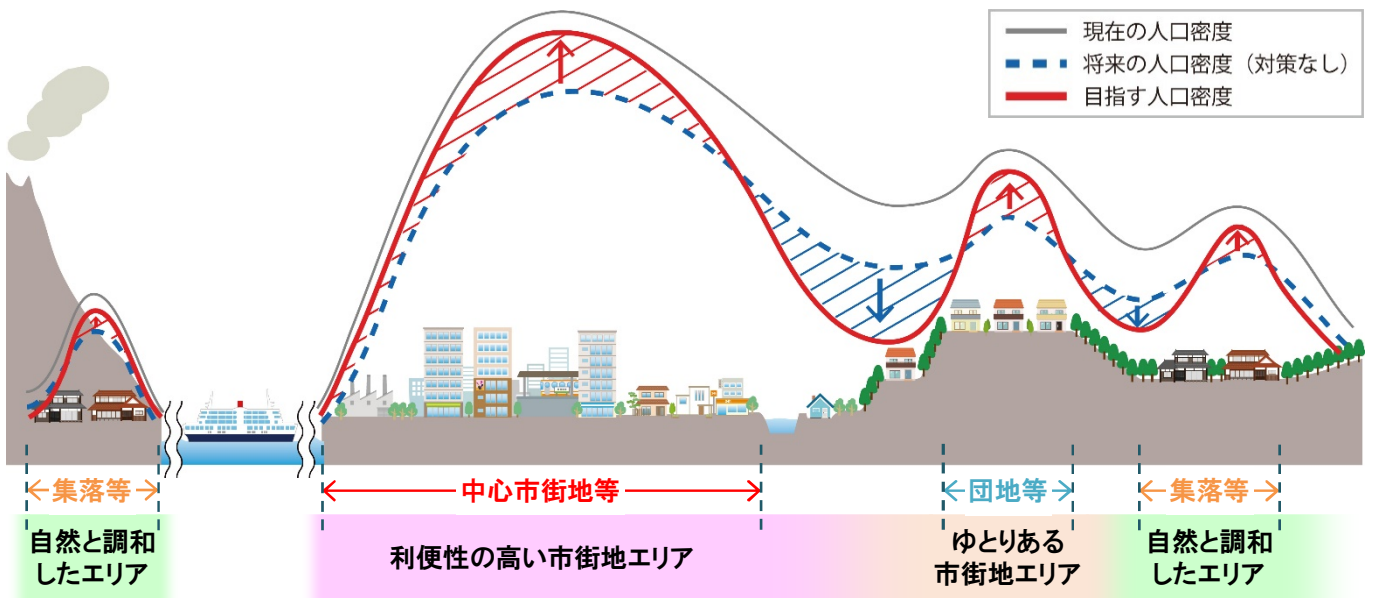


### 3. 将来都市構造の考え方

#### (1) 将来都市構造のイメージ

今後、市全体の人口密度は減少していく予測ですが、日常生活に必要な機能の集約や居住の誘導、公共交通の利便性の維持、災害発生の危険性が高い地域での開発抑制などによるきめ細かで質の高い都市づくりに取り組みます。



#### 利便性の高い市街地エリア



中心部での都心居住



公共交通の利便性の高い都市型居住



主にバス利用圏での多様な居住

#### ゆとりある市街地エリア



住宅団地等でのゆとりある居住

#### 自然と調和したエリア



自然豊かな集落等での居住



中山間地での居住

## (2) 将来都市構造の考え方

将来都市構造は、各基本目標に基づく取組を総括した「土地利用方針図」として整理することとし、具体的には、各目標の方針図を重ね合わせて作成します。

